

【様式 103】別紙

第 11 回伊那谷 FM 放送番組審議委員会

【日時】令和 8 年 5 月 20 日（水）午前 11 時 30 分～12 時

【場所】伊那市 伊那ケーブルテレビジョン株式会社 会議室

【出席者】委員総数 5 名

出席委員数 5 名

出席委員の氏名 唐澤 稔 委員長
北原 章裕 委員
栗原 拓也 委員
小池 喜志子 委員
酒井 高太郎 委員

【放送事業者側出席者名】 伊那ケーブルテレビジョン 伊藤 秀男 常務取締役
平山 直子 取締役放送部長
稲田 久人 放送課長

【審議会次第】

- 1 常務あいさつ
- 2 唐澤委員長あいさつ
- 3 自己紹介
- 4 協議事項
 - (1) 伊那谷 FM について説明
 - (2) 「伊那谷昼ワイド 867」について
実際に放送したものを聴いていただいてから審議
 - (3) 伊那谷 FM 全般について質問、要望など
 - (4) その他

閉会

伊藤常務 挨拶

今日は、社長の向山が公務と重なり欠席している。

令和 8 年度の第 1 回番組審議委員会で、心新たに審議委員会を開催したく、新しく委員長には唐澤委員長をお迎えした。

箕輪町もこれまでの鈴木さんに変更栗原委員にご出席いただいている。

伊那谷 FM は 2024 年 8 月 1 日に開局し今年の 8 月で丸 2 年を迎えようとしている。

Radimo という伊那谷 FM を聞くことができる、アプリのダウンロード数が 1 年前と比べて倍増し、去年の 4 月が 2,700 件ほどで今年の 3 月末は 5,400 件ほどになっている。

災害時に聞いてもらうためには「普段からの視聴を」というご意見を委員の皆様から頂いており、ダウンロード数でいえば着実に伸びているところかと思う。

合わせて看板番組の「伊那谷昼ワイド 867」を平日の正午から午後 2 時まで毎日ゲストを迎え放送している。今日で 430 人となり、本当に幅広い方々にご出演いただいている。

引き続き今年度も力を入れていきたいと思っている。

この番組審議委員会でいただいた意見が番組に反映されている。今回も、かつ達な議論をお願いしたい。

唐澤委員長 挨拶

私は以前に伊那ケーブルテレビのソフトボール大会で解説を行ったこともあり昔からお付き合いをさせていただいている。

新委員長ということですので、いろんなご意見をいただきながら進めていきたいと思う。

【自己紹介】

酒井委員

FM 番組審議委員会の委員として 3 年目となる。

栗原委員

4 月に前任の鈴木室長と交代しまして着任した。長野県職員で、出向で町役場に来ている。

伊那谷 FM が発展できるように意見を言えたらと思っている。

北原委員

今年 6 月で委員となって 1 年となる。

小池委員

地元になくはない、FM 局だと思い参加させていただいている。

【協議事項】

平山部長

キャッチフレーズを「この街を聴く。」ということで2024年8月1日に開局した。

コミュニティ放送局は、市区町村内の一部の地域において地域に密着した情報を提供するため平成4年1月に制度化された超短波放送局のこと。

空中線電力が20W以下で必要な放送エリアをカバーできる必要最小限のものとしており総務大臣の免許を受けて運用される民間の放送局である。

一般に市販されているFMラジオで聴くことができる。

コミュニティ放送は放送法上基幹放送に位置づけられていて、番組審議委員会の開催は年間で6回が推奨されている。

番組審議委員会でいただいた意見は番組づくりに反映される。

また出された意見はFM放送やインターネットなどで公表しなければならない。

昨年度の取り組みとして正午から午後2時の平日毎日「伊那谷昼ワイド 867」を生放送している。

「伊那谷昼ワイド 867」では、毎日異なるゲストを招いたトークやニュース・天気予報・交通情報、市町村行政情報、保育園・学校給食情報などを流している。

ゲストは5月20日時点で430人が出演している。

その他にAIアナウンサーによるニュース、行政情報、天気予報、また地域の音楽会、発表会などを流している。

より災害に強い放送局として取り組みを進めていく。

防災訓練への参加によるラジオを認知してもらう取り組みを進めていく。

【伊那谷昼ワイド 867 を視聴】

唐澤委員長

番組を視聴してのご意見を聞きたい。

酒井委員

行政情報ということで伊那市の情報を取り上げていただいてありがたい。

学校が休みのときに高校生などが出演していることが良い。

北原委員

行政情報は情報提供できたらと思っている。

行政情報については村長もAIアナウンサーではなく、自分の声で伝えていけたらということ検討している。

栗原委員

平日毎日2時間というものを放送している取材力と番組の構成がすごいと感じる。防災訓練参加による放送訓練は良い取り組みだ。大きな災害が起きたときに電気などライフラインが止まってしまう可能性がありポケットラジオで行政情報が聴けるとするのは住民の方への安心につながると思う。地域密着型のラジオがあるということで、いざという時に使えるように準備しておくことは大切だと思っている。そういったことが今年度、できるような体制にもっていければいいのかなと思う。箕輪町も防災訓練のときに災害時にラジオで発信できるような体制にもっていきたいと考えている。

小池委員

平日毎日の生放送は大変だろうと思う。毎回、可能な限り聴いているが新たな発見ができるという楽しみもある。スマートフォンでも聴くことができるのであれば若者にも広がると思う。番組の合間に流れる音楽は若者向きが多いと思うが、私の年齢に合うものが流れるとほっとする。

唐澤委員長

私もラジオについて勉強してまいりたい。意見を聞いて常務から感想はありますか。

伊藤常務

伊那谷昼ワイド 867 を聞いていただいたが、この番組で心がけているのは、幅広い方にゲスト出演いただくということと、年齢層、伊那市、箕輪町、南箕輪村が均等になるように考えていかなければならない。選曲についてもバランスを考えていかなければならない。

平山部長

選曲についてはいろんな年齢層の方に楽しんでいただけるように考えていかなければならない。また防災についてはスタッフ一同改めて意識を持ち業務にあたるとともに、地域の皆さんに認知していただけるように努めていきたい。

伊藤常務

防災面で信州大学の不破特任教授による「災害発生時の孤立を防ぐ情報網の構築につい

て」という内容で勉強会があった。

そんな点も踏まえ防災には力を入れていきたいと考えている。

唐澤委員長

災害について被災者はラジオなどで情報発信してもらわなければ状況が分からないので、研究しながら進めていってほしい。FM 全般について意見はあるか。

小池委員

以前もこの番組審議委員会では話があったが、お年寄り向けの「川柳」の番組はどうなっているか？

平山部長

視聴者参加型の番組として「川柳」をご提案いただいている。すぐというわけにはいかないが、番組を増やしていきたいと考えている。

唐澤委員長

高齢者も楽しめるということで検討していただきたい。

これで FM 番組審議委員会は終了させていただきます。

以上

【審議機関の答申又は意見の概要の公表】

公表の方法

- ・伊那エフエムが行う放送
- ・事務所への備置き
- ・自社ホームページ <https://fm867.jp/>への掲載

公表内容

- ・上記議事録内容

公表年月日

- ・2026年6月1日